

二〇一八年度

沖縄大学 一般入試（中期）

「国語」 （解答例）

・ 法経学部 法経学科

・ 人文学部 国際コミュニケーション学科

福祉文化学科

国語 解答用紙

氏名

受験番号

解 答

問一

① 高尚 こうじやう	② たいしょう 対象	③ こしくだ 腰砕け	④ めいよ 名誉
⑤ ちどりあし 千鳥足	⑥ きおく 記憶	⑦ ほんりよう 本領	⑧ せいきゆう 性急
⑨ きやうじゆ 享受	⑩ ゆうえつ 優越	⑪ れつとう 劣等	⑫ かなで 奏で
⑬ いろどり 彩り	⑭ とぎすまして 研ぎ澄まして		

問二

A だから	B しかし	C そして
D そもそも	E なるほど	F また

問三

(例) 未来と死という、見ることでできない荷物 (19字)

(例) 非難の石つぶて、あるいは会場を揺るがす声援 (21字)

問四

【小問一】

表現衝動 (完全解答)

【小問二】

*以下の三つのうち、二つを抜き出してあること。

生きてあることの情感を、ただいたずらに過ぎ去らせたくはないという思い

(34字)

何か光るものが不意に舞い降りてきた生の瞬間を記念したいという根源的な欲望

(36字)

この世に生きてあることの感触や意味を再発見し編み直していくこと

(31字)

問五

(例)個人の命や心の動き自体は、はかなく過ぎ去りゆくものだが、芸術という人間の生を記念する共同の経験のなかで、個人の心は時間と空間の距離をこえて響きあい幾重にも編み直されていくということ。(91字)

(例)個人の経験(感情)は、移ろいやすいものだが、芸術的表現によって美の典型として高められた作品は時間と空間の距離をこえて、人びとの共感を呼び起こすような社会的な共有の財産となるということ。(92字)

問六 この文章についてのあなたの意見や感想を二〇〇字程度で書きなさい。

・表記、字数(適切であるか)

・内容(文章で表現されている「芸術」の本質について、よく読んで、自分の

問題として考えているかどうか)

(例)芸術とは高尚なもの、あるいは一部の専門家にしか理解され享受されないものではなく、人間が自分の個人的な体験や感情を追体験したり、再認識したりするために必要な、社会的・歴史的な共有の財産であることに気づかされた。表現できないような感情や感動体験に「名前と形」を与える行為こそが芸術の本質的な使命であると思う。そして、そのような芸術的表現によって創造された美的な作品は、私たちの人生にとって身近に必要なものである。(204字)